



Setting samples Azureモデル 概要

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」、「Setting samples Azureモデル」を「Azureモデル」と記載します。

第1.0版 (ITAバージョン1.9.1版)

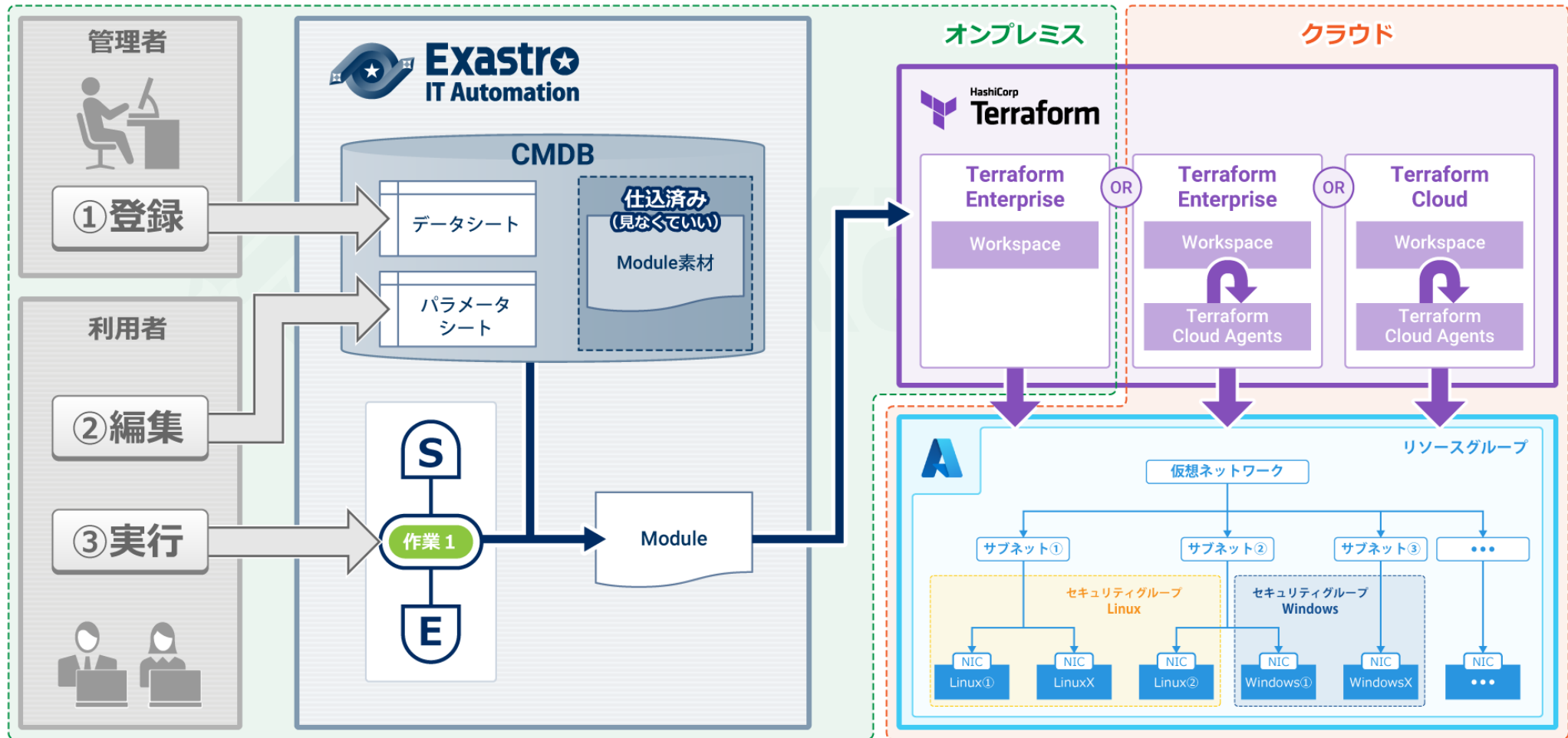
Exastro developer

目次

1. はじめに
2. Azureモデルとは
3. Azureを自動化する目的
4. 自動化の仕組み
5. RBACによる誤操作防止
6. Azureモデルによる自動化
 1. 仮想マシン作成
 2. リソースグループとWorkspaceの関係
7. 困ったときは
8. 参考
 1. (プリセットされているConductorやパラメータシートの一覧)

1. はじめに

このドキュメントは、ITA と組み合わせて実行されるAzureモデルの概要を記載するものです。
Azureモデルの具体的な導入する方法を知りたい方は、コミュニティサイトの「Azureモデル導入手順」をご参照ください。

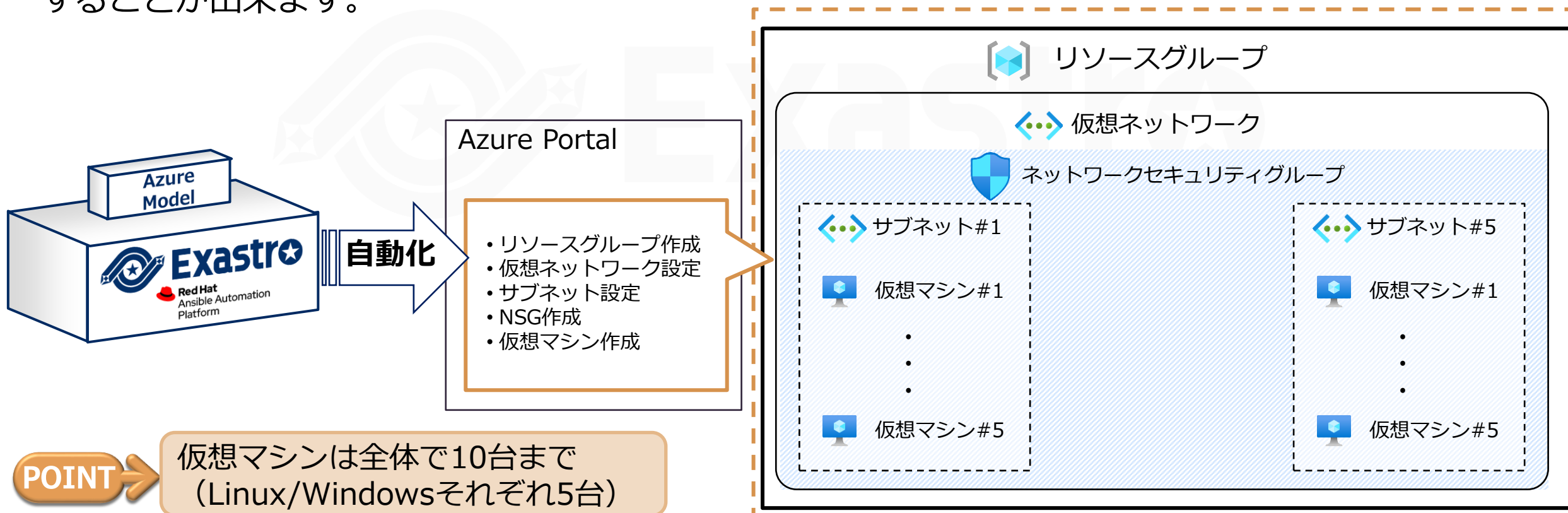


2. Azureモデルとは

Azureモデルは、Azure Portalを使った煩雑な仮想マシン作成作業を自動化するモデルです

仮想マシンの作成だけでなく、仮想ネットワーク設定、サブネット設定、ネットワークセキュリティティグループ（NSG）作成を自動化します。

本モデルを使うことで、セキュリティ設定やネットワーク設定を統一したVMグループを簡単に作成することが出来ます。



3. 自動化の目的

■ Azure上のVMや仮想ネットワークの操作は、Azure Portalと呼ばれるWebベースのGUIを使って実施されます。

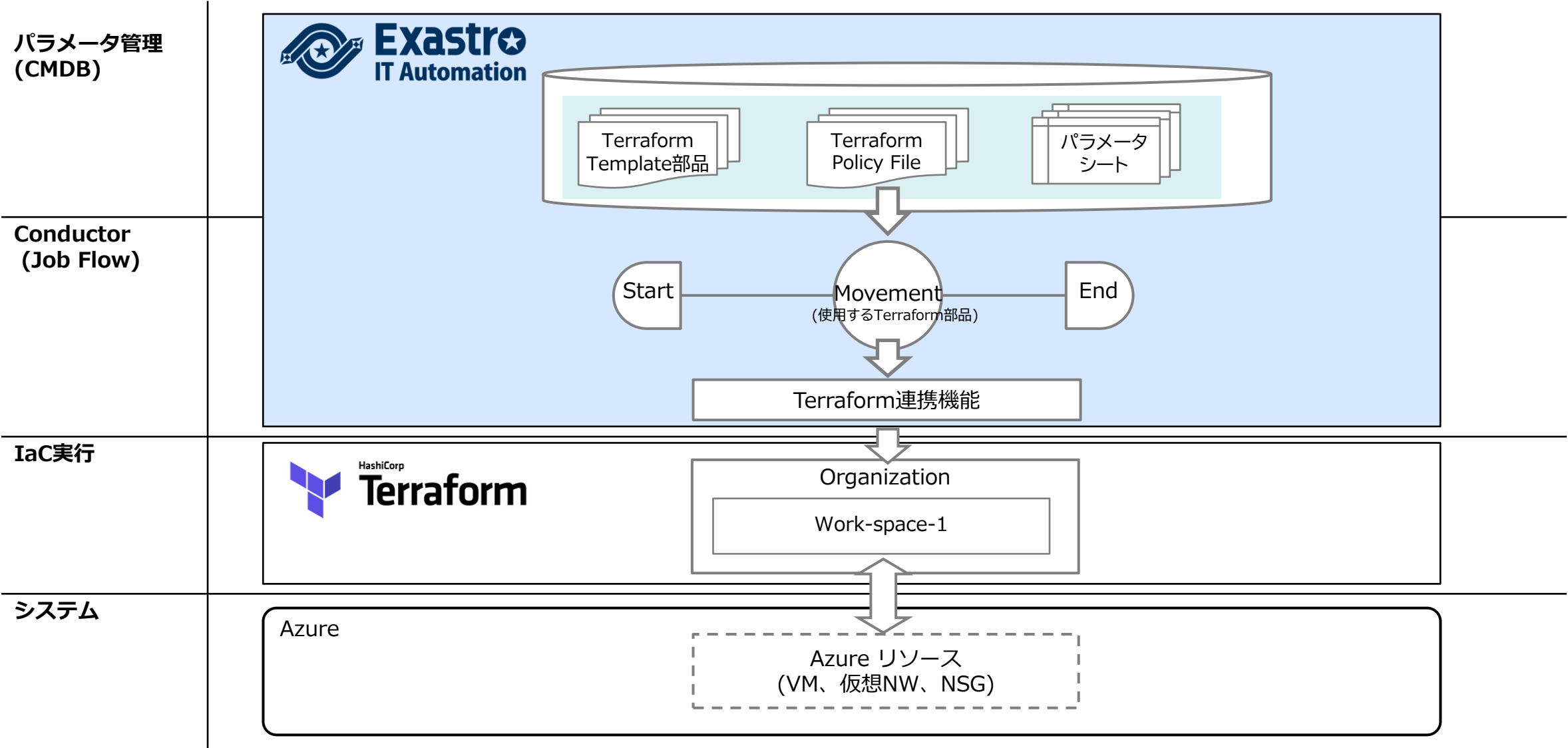
このGUI操作は慣れない人にとって煩雑であり、またネットワークやセキュリティの知識とが必要です。

■ Azureを利用する組織ごとの設定を本モデルに閉じ込めることで、誤ったネットワークやセキュリティ設定の防止やVM払い出し/設定に関する労力を削減することが可能です。



4. 自動化の仕組み

Azureモデルは、Exastro ITAからTerraformを利用することでAzure上にリソースを構築します。



5. RBACによる誤操作防止

■ AzureモデルではITAのRBAC(ロールベースアクセス制御)機能を使って必要のないパラメータシートにアクセス出来ないようにすることが出来ます。

パラメータ設定ミスによる誤操作で、Azure全体に影響が出ることを防ぐことが出来ます。

■ またAzureモデルでは実行するためのユーザとロールをプリセットしています。
必要に応じてこれらのユーザやロールを追加・編集してください。

ログインID	ユーザ名	ロール名	ログインパスワード	想定する業務
administrator	システム管理者	システム管理者	“ITA初回ログイン時に変更したもの”	<ul style="list-style-type: none">ITA全体管理
azure-admin	Azureモデル管理者	Azureモデル管理者ロール	password	<ul style="list-style-type: none">Azureモデルの全般に関する設定の変更Azureモデルのマスタ情報の管理
azure-user	Azureモデルユーザ	Azureモデル利用者ロール	password	<ul style="list-style-type: none">パラメータの投入作業の実行
	—— 一般ユーザはシステム管理者が必要に応じて追加してください ——			

6. 自動化対象作業

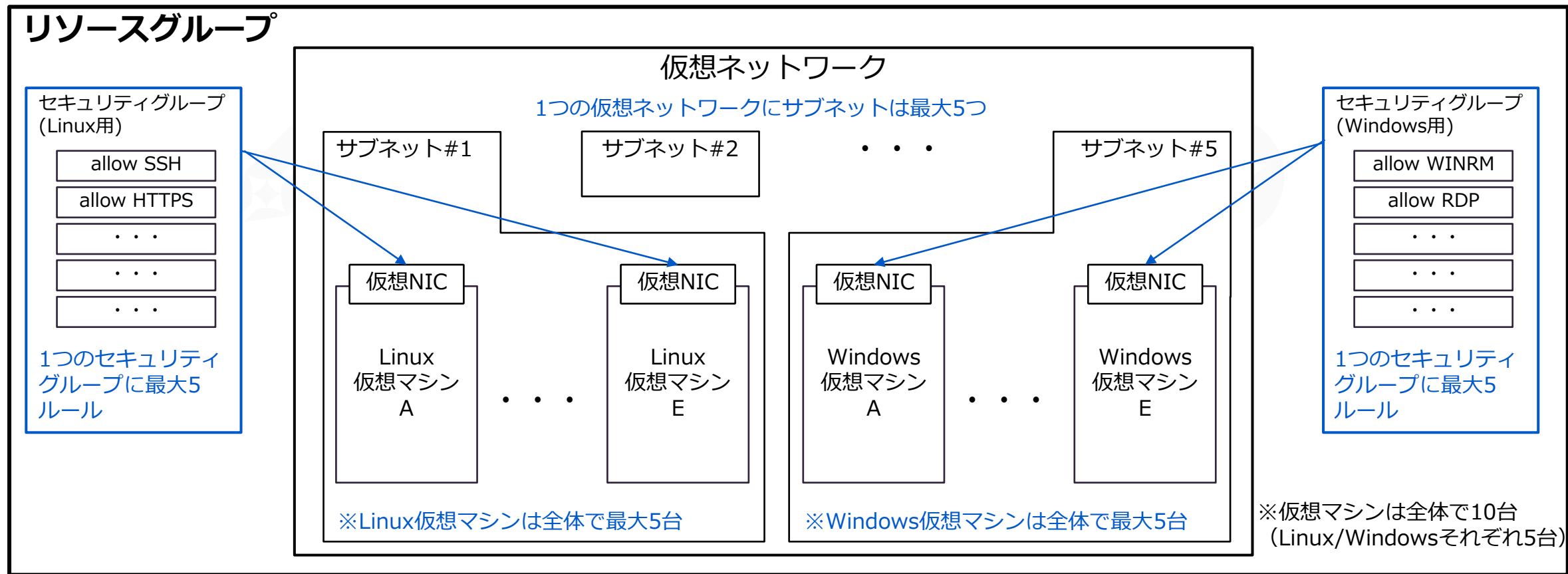
■ Azureモデルは、基本操作として次の作業を自動化します。

- リソースグループの作成
- 仮想ネットワークの作成
- サブネットの作成
- ネットワークセキュリティグループの作成
- 仮想マシンの作成

■ それぞれの操作はConductor、オペレーション、パラメータシートを組み合わせで実行します

6.1 仮想マシン作成

- 「仮想マシン作成」Conductorを使用することで、Azure上に仮想マシンの新規作成を行います。作成される仮想マシンは一回のオペレーションでLinux/Windowsそれぞれ最大5台です。
- 仮想マシンは所属するサブネットを選択可能です。
例：サブネットAにLinux仮想マシンAとWindows仮想マシンAなど

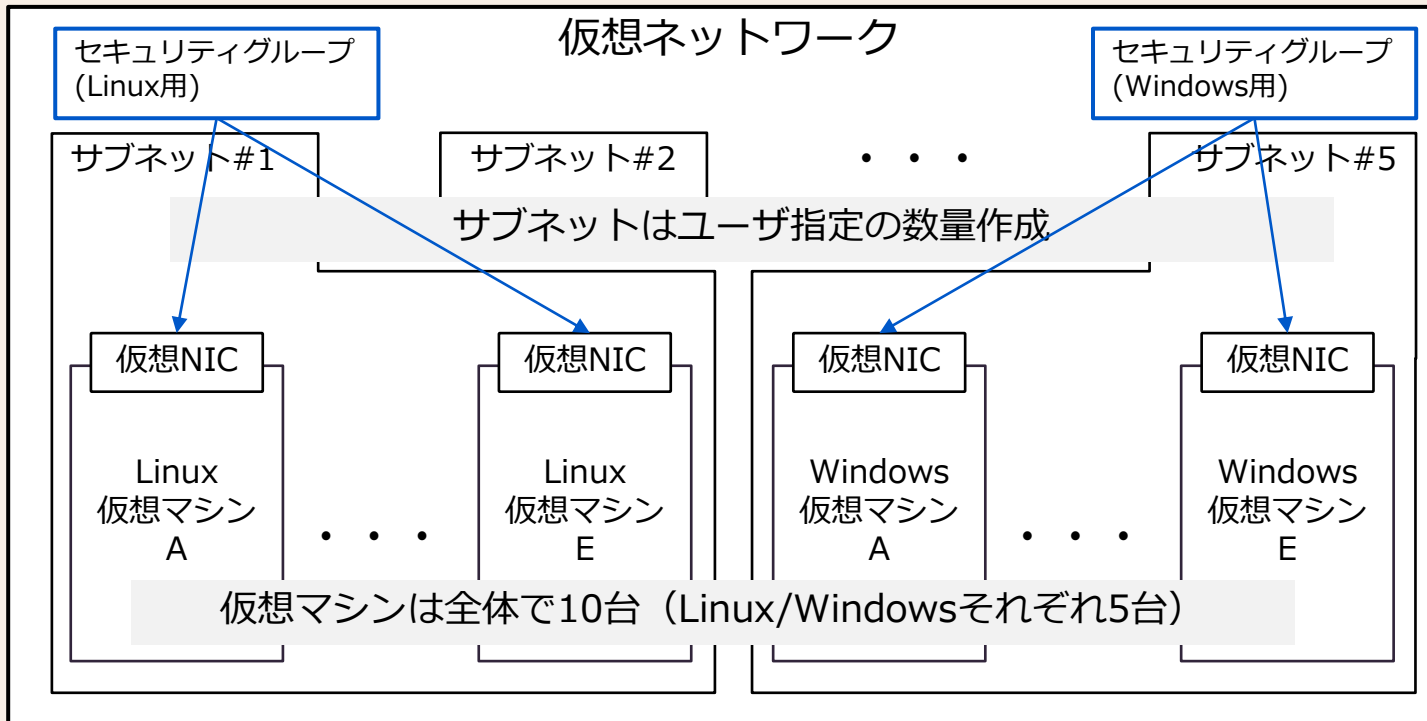


6.2 リソースグループとWorkspaceの関係

- Azure上にリソースグループのセットを作成します。
作成されたリソースグループはTerraform上のWorkspaceと1対1で紐づきます。

Azure基盤

リソースグループ



Terraform

Workspace



7. 困ったときは

■ 「Error: building account: getting authenticated object ID: ~」 とでて失敗する場合

- 「プロバイダー設定」の設定値が誤っている可能性があります。
サブスクリプション、テナントID、クライアントID、クライアントシークレットなどの値を再度確認してください。



Conductor名	概要	Conductor
仮想マシン作成	新規で仮想マシンを作成します。	



パラメータシート一覧

No.	メニューグループ名	メニュー名	アクセス許可ロール※		説明
			管理者	ユーザ	
1	基本コンソール	オペレーション一覧	●	●	オペレーション一覧をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Movement一覧	●		Movementとオーケストレータの関連付けを閲覧できます。
2	マスタ管理_Hyper-Vモデル	インターフェース情報	●		Terraformへの接続インターフェース情報をメンテナンス(閲覧/更新)できます。
		Organizations管理	●		Organizations情報をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Workspaces管理	●		Workspaces情報をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Movement一覧	●		TerraformのMovementをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Module素材集	●		TerraformのModuleをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Policies管理	●		TerraformのPolicyをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Policy Sets管理	●		TerraformのPolicySetをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		PolicySet-Policy紐付管理	●		TerraformのPolicySet-Policyの紐付けをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		PolicySet-Workspace紐付管理	●		TerraformのPolicySet-Workspaceの紐付けをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Movement-Module紐付	●		MovementにインクルードするModuleをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		代入値自動登録設定	●		紐付対象メニューに登録されているオペレーションの項目の設定値を紐付けるMovementと変数がメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		代入値管理	●		オペレーションごとに、対象のMovementで利用されるModuleの変数「var.」に代入する具体値をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		作業実行	●		Movementを単体実行できます。
		作業状態確認	●	●	登録したTerraform作業をモニターするメニューです。
		作業管理	●	●	作業一覧(実行履歴)を閲覧できます。

※管理者: Azureモデル管理者
ユーザ: Azureモデルユーザ

パラメータシート一覧

No.	メニューグループ名	メニュー名	アクセス許可ロール※		説明
			管理者	ユーザ	
3	Conductor	Conductor通知先定義	●		PHPのcURL 関数を使用して、通知処理を行います。
		Conductorクラス一覧	●		Conductorクラスを閲覧できます。
		Conductorクラス編集	●		Conductorクラスを作成できます。
		Conductor作業実行	●	●	Conductorを実行できます。
		Conductor作業確認	●	●	登録したConductor作業をモニターするメニューです。
		Conductor作業一覧	●	●	Conductor作業一覧(実行履歴)を閲覧できます。
		Conductor定期作業実行	●	●	Conductorをスケジュールにしたがって定期的に行うことができます。
4	マスタ管理_Azureモデル	方向	●	●	通信ルール設定で利用するブルダウンを管理するメニュー
		アクセス	●	●	通信ルール設定で利用するブルダウンを管理するメニュー
		プロトコル	●	●	通信ルール設定で利用するブルダウンを管理するメニュー
5	共通メニュー_Azureモデル	プロバイダー設定	●	●	Azureへの接続情報を設定するメニュー
		リソースグループ設定	●	●	作成したいリソースグループを定義するメニュー
		仮想ネットワーク管理	●	●	リソースグループ内で利用する仮想ネットワークを定義するメニュー
		サブネット設定	●	●	作成したいサブネットを定義するメニュー
6	Linuxマシン作成_Azureモデル	通信ルール設定_Linux	●	●	仮想マシンに対する通信ルールを定義するメニュー
		仮想マシン設定_Linux	●	●	作成したい仮想マシン設定を定義するメニュー
7	Windowsマシン作成_Azureモデル	通信ルール設定_Windows	●	●	仮想マシンに対する通信ルールを定義するメニュー
		仮想マシン設定_Windows	●	●	作成したい仮想マシン設定を定義するメニュー

